

目標達成計画

作成日: 令和 6年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は事業所の所在地にある自治会の役員の方に構成員として参加して頂き、運営状況などご理解頂けているが、隣接する隣町の方には事業所の存在を認知して頂けていない状況にある。	地域密着型サービスとして、事業所の存在をご理解頂くため、隣接する地域の方にも運営推進会議の構成員として参加を要請する。	・隣接地域担当のあんしんセンターにも事業所状況を伝える。また、地域のイベントに参加できるように職員へアナウンスして意識してもらう。	12ヶ月
2	11	運営に関して職員意識を持っている人が少ない。分からず人員増加を希望されている。どのくらい、登録数があれば運営していけるか。知らない職員もいる。	事業所管理者だけでなく社長や職員の意見を組織的に反映できる仕組みをつくる。声掛けについての重要性を全職員に理解してもらう。	・ミーティングの時に事業所の売り上げ状況報告。どのくらい登録数が必要なのか、意識を持ってもらう。また、定期的に営業活動行う。レクリエーションに必要物品についても希望に応える。	12ヶ月
3	33	終末期ケアの経験がまだないが、開設からのご利用している方も多く、高齢化・重度化してきている。終末期ケアの家族からのご意向もあり、今後家族、介護職員、医療従事者でどのような支援ができるか話し合う時期をむかえている。	終末期ケアを対応するに当たって、家族、職員、医療従事者とよく話し合い、どこまでできどこまでできないのか線引きを明確化していき、本人、ご家族に納得できる説明をさせて頂く。終末期を対応する職員の為にも加算を取っていきたい。	・終末期ケアの同意書についての説明をして理解して頂いた中でサインをもらい。利用者様の状態を記録に残し、また、ケアプランの変更も行いながら対応していく。 ・終末期の経験が少ない職員もいるので対応や医療連携も伝えながら不安に感じている事を一つ一つ取り除いていく。また、キートスグループ内で研修を行う。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。